

第29回（'18）

書学書道史学会大会

於：岐阜女子大学文化情報研究センター（杉山ビル）

今年度の大会は、10月27日（土）・28日（日）の両日、岐阜女子大学文化情報研究センター（杉山ビル）において開催します。日程の詳細が決まりましたので、ご案内申し上げます。研究発表に加え、講演会およびクロストークを企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

【10月27日（土） 1日目】

11：00～12：50 理事会（6階和室）

13：00～ 受付開始（6階大会議室前）

13：30～14：30 開会式・総会（6階大会議室）

14：40～15：40 研究発表（6階大会議室）

①14：40～15：10 「中国における極小の書に関する一考察

—清人二十六家による蠅頭書冊〈耆儒澄鑑〉を例として—

中村伸夫（筑波大学）【司会：大野修作】

②15：10～15：40 「唐時代における王羲之崇拜と逸格派の書について」

鍋島稲子（台東区立書道博物館）【司会：富田 淳】

16：00～17：45 研究推進のためのクロストーク（6階大会議室） ※聴講無料

「若手の研究推進をテーマに」

司会：澤田雅弘（大東文化大学）

パネラー：蘇 浩（関西大学大学院生）

林 司洋（筑波大学大学院生）

関 俊史（早稲田大学大学院生）

剣持翔伍（筑波大学大学院生）

18：00～19：30 懇親会（岐阜キャスルイン TEL：058-262-3339）

【10月28日（日） 2日目】

09：00～ 受付開始（6階大会議室前）

09：30～12：10 研究発表（6階大会議室）

③09：30～10：00 「『栄花物語』にみる書道観と時代性」

南條佳代（佛教大学）【司会：笠嶋忠幸】

④10：00～10：30 「出雲路敬通の書に関する基礎研究」

谷口成孝（大東文化大学大学院生）【司会：高城弘一】

⑤10：30～11：00 「近代朝鮮における書の専門化過程とその特徴 —官僚出身書人の動向を中心に—」

金貴粉（国立ハンセン病資料館）【司会：柿木原くみ】

11：00～11：10 休憩

⑥11：10～11：40 「開母廟石闕銘の避諱に関する一考察」

早川桂央（保善高等学校）【司会：河内利治】

⑦11：40～12：10 「法帖画像アーカイブを研究資源として活用するために」

成田健太郎（埼玉大学）・中村覚（東京大学）【司会：菅野智明】

12：10～13：20 記念撮影・昼食

13：20～14：50 講演会（6階大会議室） ※聴講無料

「中国における書芸術の誕生」

富谷至氏（京都大学名誉教授）

15：00～15：10 閉会式（6階大会議室）